

2013年度地域文化演習・地域文化調査法・地域調査入門・地域環境演習・地域環境調査法のテーマ・内容・調査地域一覧（2013年3月7日）

地域文化演習（3年選択必修）

教員名	記号	演習テーマ	演習内容等	曜・時限
櫻井明久	A	地誌的調査法（農村と都市）	前期には、地方小都市と農村の地域調査の練習を行い、続いてグループないし個人で、大学周辺地域において研究テーマを設定する。後期は、そのテーマにしたがって調査を実施し、レポートを作成する。	木・2
土'谷敏治	B	都市問題と公共交通	交通や都市の問題についての文献講読を中心に授業を進める。その後、実際に調査計画を作成し、それを基に現地調査の実習を行う。現地調査は、1人でも、4人程度までのグループで行ってもよい。現地調査は、10月中旬に静岡市と周辺地域を予定している。	火・5

地域文化調査法（3年選択必修）

教員名	記号	調査法テーマ	調査地域	調査期間	調査内容等	曜・時限
高橋健太郎	A	農山村の暮らしと産業	長野県栄村	6月（4泊5日）	農村集落の持続と変容、農産物のブランド化、都市・農村交流、農村への移住、震災からの復興などのテーマで資料収集と調査をして、報告書を作成する。「村落地理学」を未履修の人は今年度に履修のこと。	月・3
橋詰直道	B	地方都市の景観と生活環境を調べる	小樽市とその周辺	6月30日～7月4日（4泊5日）の予定	小樽市を事例に、都市の歴史、都市景観、地域産業、住民の居住環境などの分野について現地調査を実施することで、地方都市の特徴及び現在抱える課題について学ぶ。調査結果は、報告書としてまとめる。	火・5
佐藤哲夫	E	那覇市の都市計画	那覇市	7月下旬を予定	4月1日に中核市となった那覇市の都市計画行政について調べる。今までに都市計画に関する一通りの知識をすでに勉強しており、今回とくに景観計画、地区計画などの調査に興味のある諸君の参加を望む。	木・2
須山 聡	F	奄美大島の地域性	奄美大島	6月23日～28日	奄美大島の地域的特徴を、グループごとにテーマを決めて調査する。景観の観察・土地利用調査・聞き取り調査・統計資料の分析などを主要な手法とする。近年のテーマは、市街地の活性化、フードデザート、Iターン移動、奄美の妖怪ケンムン、郷土料理油そうめん、体験型観光、共同商店などである。地理学特講Ⅱを合わせて履修することが望ましい。	水・4

地域調査入門（2, 3, 4年選択）両専攻共通

教員名	記号	調査法テーマ	調査地域	調査期間	調査内容等	曜・時限
須山 聡	C	朝鮮通信使の足跡をたどる	長崎県対馬市	10月31日～11月2日	朝鮮通信使が往来した痕跡を、対馬の都市景観から観察する。また、近年のインバウンド観光についても現地での観察や聞き取り調査を行う。往路、帰路のどちらかを釜山経由とすることも考えられる。	後期 水・2
平井幸弘	E	火山地域の防災とツーリズム	福島県磐梯山、猪苗代湖地域	10月下旬の2泊3日	福島県の磐梯山、猪苗代湖地域において、過去の火山災害および将来の噴火に対する防災、および火山地域におけるツーリズムについて、現地の関係機関や博物館等を訪問し、地形調査や聞き取り調査等を行う。（キーワード：1888年磐梯山噴火、裏磐梯湖沼群、ハザードマップ、ジオツーリズムなど）	後期 火・2
土'谷敏治	F	自治会主導のコミュニティバス	函館市と周辺地域	6月中旬	函館市と周辺地域で、公共交通機関の現状を観察するとともに、自治会主導のコミュニティバス運行の経緯、函館市のかかえる公共交通問題について、聞き取り調査を行う。	前期 金・5

地域環境演習（3年選択必修）

教員名	記号	演習テーマ	演習内容等	曜・時限
江口 卓	B	気候景観とモンスーン	前期は小気候に関するフィールドワークと論文の講読を行う。長野県八ヶ岳周辺で1泊2日のフィールドワークを行う。後期は、モンスーンアジアの気候に関する論文の講読を中心に行う。	水・4

地域環境調査法（3年選択必修）

教員名	記号	調査法テーマ	調査地域	調査期間	調査内容等	曜・時限
鈴木秀和	A	火山地域の水文環境	霧島または箱根火山周辺地域	9月下旬～11月中旬に3泊4日	霧島火山（鹿児島県）または箱根火山（神奈川県）周辺地域において、湧水・地下水・河川水を対象に採水・流量観測などの水文調査や、その利用などについて聞き取り調査を実施する。現地調査により得られたデータから、対象地域の水文環境や水利用特性について包括的に検討を行い、レポートもしくは報告書としてまとめる。	火・3
高木正博	C	松山の水資源と湧水	愛媛県松山市周辺	7月上旬又は9月下旬	この地域にはダム、湧水群や溜池が多く存在するが、日本有数の湧水地域である。慢性的な水不足に悩む地域において、水資源と湧水に関する水文調査を行う。	金・5
田中 靖	E	八重山諸島の人と自然	石垣島	10月下旬	八重山諸島の人と自然に関する調査を行う。調査は3泊4日の予定。全体巡検と班別自主調査実習の二部構成。主要テーマはサンゴ礁、景観復元、新空港、赤土流出、津波、離島の生活存立基盤、自然保護運動など。	水・3
平井幸弘	F	湖沼をめぐる環境問題とワイズユース	島根県宍道湖およびその周辺地域	9月下旬の3泊4日	島根県の宍道湖を中心に、湖およびその周辺地域において、湖をめぐる開発や環境問題、自然再生などに関して、地形調査、水文調査、植生調査、景観調査、またしかるべき機関、団体、個人を対象に聞き取り調査や質問票調査を実施する。（キーワード：ラムサール条約、湖岸修復、斐伊川の河道変遷、松江市の水害、シジミ漁など）	水・4

*演習と調査法、地域調査入門と演習または調査法を履修することも可能です。希望人数によっては調整することもあります。